

2021年1月19日

各 位

会 社 名 Nexus Bank 株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 山口 慶一  
 コード・上場 4764・JASDAQ  
 問 合 せ 先 専務取締役 正司 千晶  
 電 話 番 号 03-5259-5300 (代表)

**2020年12月期連結業績予想及びセグメント変更に関するお知らせ**

当社は、2020年11月11日付の「2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2020年12月期の連結業績予想(以下、「本業績予想」といいます。)は精査中のため未定としておりましたが、今般、入手可能な情報に基づき算定が可能となりましたので下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、セグメント変更につきましても決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

**記**
**1. 2020年12月期 連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)**

	営業収益 <sup>(注1)</sup>	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 <sup>(注2)</sup>
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	3,700	310	300	△90	△2.32
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減額 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 2019年12月期 <sup>(注3)</sup>	827	△270	△248	△303	△8.68

(注) 1. 勘定科目の見直しに伴い、「売上高」を「営業収益」に変更しております。

2. 1株当たり当期純利益は、2020年12月期末時点の発行済株式数(38,635,500株)にて算定しております。

3. 決算期の変更に伴い、2019年12月期の実績は2019年2月1日から2019年12月31日までの11カ月間の数値となっております。

## 2. 本業績予想の内容

本業績予想は、2020年11月に実施した株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）により、新たに連結対象としたJトラストカード株式会社及びJT親愛貯蓄銀行株式会社（以下、「JT親愛貯蓄銀行」といいます。）の2020年11月から12月までの2か月間の業績（営業収益：約3,200百万円、営業利益：約660百万円）を反映した結果、営業収益が前期比で約340%増と大幅に増加するとともに、営業利益、経常利益につきましても黒字転換となる見込みです。

また、親会社に帰属する当期純利益につきましては、JT親愛貯蓄銀行が事業展開している韓国現地における法人税等の増加及び匿名組合損益分配額等を加味した結果、前期比で赤字幅縮小にとどまる予定です。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の決算数値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 3. セグメント変更の内容

当社はこれまで「投資銀行事業」と「ITサービス事業」の2つのセグメントにて業績報告してまいりましたが、本株式交換後のグループ全体の事業形態を勘案し、2020年12月期第4四半期決算よりセグメントを「Fintech事業」、「ITソリューション事業」、「その他」の3つに区分いたします。

また、「投資銀行事業」につきましては、当社グループが成長領域と位置付け展開を進めております「金融×IT」をテーマとした事業内容に合わせ、セグメントの名称を「Fintech事業」に変更するとともに、「ITサービス事業」につきましても「ITソリューション事業」に名称変更いたします。

### 変更後のセグメント区分

セグメントの名称	事業内容
Fintech 事業	① 国内エリア ・クラウドファンディングプラットフォームの運営 ・クレジットカードの発行・管理 ・割賦販売斡旋業 ・企業及び個人への投融資活動 等 ② 海外エリア ・韓国国内における貯蓄銀行業 等
IT ソリューション事業	① ミドルウェアソリューション ② システム開発ソリューション
その他	① 不動産賃貸 等

以 上